

掛川

かけがわ
おまつり

三年に一度の大乱舞。四十二町が織りなす伝統絵巻。



清元神田祭

小唄 祇太郎

長唄 浦島

長唄 吉原雀

瓦町

獅子舞かんからまち
静岡県指定無形民俗文化財

西町

奴道中
形態は歌舞伎の花奴
江戸時代の東海道を偲はせる

仁藤町

大獅子
日本の大きさを誇る大獅子の舞

令和6(2024)年 10月11日(金) 18時から21時 12日(土) 9時から21時 13日(日) 9時から21時 14日(祝日) 9時から21時

かけがわ
おおまつり

掛川大祭 ご案内

「掛川祭」は、掛川市中心部に位置する7つの神社の氏子41町が参加する合同祭礼です。本年は、3年に一度の「大祭」の年にあたり、三大余興と呼ばれる「獅子舞かんからまち」「大獅子」「奴道中」や、歌舞伎舞踊を伴う「衣裳祭り」を中心に、多種多彩な出し物が展開されます。※今回の「大祭」は、コロナ感染拡大の影響で6年ぶりの開催となります。



12・13・14日
3日間(昼間)のみ

●獅子舞かんからまち(瓦町)
掛川城や藩と密接な関係にあった獅子で、歴史上の初出は宝暦3(1753)年です。形態は、関東以北に多い三頭(三四)獅子で、地理的例外として掛川に存在する理由は、解明されておらず、起源も含めて謎のままです。舞の途中で切れ味ある側転が入り、帯同する「花幌」の神々しい美しさも、見る人の目を奪います。
(静岡県指定無形民俗文化財第1号)



13・14日
両日(昼間)のみ

●大獅子(仁藤町)
総勢約200人で操る我が国最大級の獅子で、舞う姿は圧巻です。幕末の頃、旅に出た地元仁藤町にある天然寺の住職が、伊勢白子(三重県)で見た獅子を元に考案したとされます。「大獅子」に従う屋台は、旧掛川藩お抱え大工の系統の棟梁が明治時代に製作したもので、名門立川流の彫刻も施された逸品です。屋台から聞こえるお囃子が格調高いものです。



12・13・14日
3日間(昼間)のみ

●奴道中(西町)
明治時代に、江戸時代の東海道や掛川を偲び考案されました。折しも、日清・日露の戦勝祝いが重なり、当時の薩長政権を意識し、薩摩藩の「大名行列」になったとされますが、実際には、道具箱などに掛川藩の紋章も見られます。見どころは、奴による槍や大鳥毛の受け渡しです。また、本来の編成は「大名行列」で、今回は「奴道中」のみでの披露です。



11~14日

●衣裳祭りと屋台(江戸天下祭の名残)
戦前の掛川の祭りは「衣裳祭り」と呼ばれ、歌舞伎舞踊を源泉とする品の良さと華やかさは、今なお掛川の祭りの様式美として継承されています。屋台は、全国的に珍しい二輪形式で、屋台行事全体に江戸天下祭の複数の痕跡が見られ、曳き回しの途中で、長唄や端唄などの演舞が披露されます。また、彫刻などの屋台装飾には、中京圏の曳山文化の影響が確認できます。

お祭り広場

開催日時: 10月13・14日ともに12:30~16:30
開催場所: 掛川城下通り

「掛川大祭」では、三大余興や衣裳祭りを初め、参加全41町による様々な出し物や演舞が、街並みのあちこちで披露されます。お祭り広場では、「掛川大祭」を構成する「獅子舞」「曳山(屋台)」「花柳(衣裳/歌舞伎舞踊/手踊り)」の3つの文化に関する具体的な解説とともに、各町の屋台や出し物をご覧頂くことができます。

※祭りの日程や予定は、雨天などの都合により、予定が変更になる場合があります。



【交通のご案内】 ◆掛川市役所臨時駐車場・無料シャトルバス 13日(日)・14日(月)の9:00~17:00 ◆名古屋から掛川まで新幹線で約60分。高速道路で約90分。◆浜松から掛川まで新幹線で約12分。高速道路で約16分。◆静岡から掛川まで新幹線で約15分。高速道路で約35分。◆新東名森掛川I.C.から車で約25分。◆富士山静岡空港から掛川まで車で約20分。※駐車場台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせは 掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」 ☎0537(24)8711
https://www.kakegawa-kankou.com/ JR掛川駅 南口 コンコース内(営業時間/9:00~17:00)